

座標: 北緯34度30分04.4秒 東経135度26分49.0秒

聖神社 (和泉市)

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

聖神社（ひじりじんじゃ）は、大阪府和泉市にある神社。和泉国和泉郡の式内社で、和泉国三宮。現在の社殿は豊臣秀頼が片桐且元を奉行として再建したもので、本社本殿や末社本殿が重要文化財に指定されている。旧社格は府社。

目次

社名

祭神

歴史

社殿

境内社

文化財

重要文化財

大阪府指定文化財

重要美術品

交通

周囲

脚注

外部リンク

聖神社	
 本殿（右奥）と拝殿	
所在地	大阪府和泉市王子町919
位置	北緯34度30分04.4秒 東経135度26分49.0秒
主祭神	聖大神
社格等	式内社（小） 和泉国三宮 旧府社
創建	（伝）白鳳3年（675年）
本殿の様式	入母屋造檜皮葺
別名	信太明神
札所等	和泉五社
例祭	5月10日

社名

『延喜式神名帳』には和泉国和泉郡「聖神社」とあるが、「信太大明神」「篠田社」「信太聖社」などとも呼ばれる。

祭神

- 聖大神（ひじりのおおかみ）

聖大神は『古事記』に「聖神」と登場する大年神の御子神である。『和泉国大鳥五社大明神并府中惣社八幡宮縁起』によると本地仏は地蔵菩薩となっている。

社家説によれば以下の5柱が祭神だという。現在は配祀神になっているらしい。

- 瓊々杵尊
- 天照大神
- 饒速日命
- 木花開耶姫命
- 磐長姫命

歴史

神武天皇東征の際に瓊々杵尊を祀ったとする伝承と、白鳳3年（675年）8月15日に天武天皇の勅願により渡来氏族の信太首（しのだのおびと）が聖大神を祀ったとする伝承の二説がある。貞観元年（859年）5月7日に官社に指定され、同年8月13日に従五位下から従四位下の神階を受ける（『三代実録』）。延長5年（927年）に施行された『延喜式』ではその「神名帳」に記載される（式内社）。中世の『和泉国神名帳』では神階が「正一位」となっている。



本殿

鎌倉時代には信太氏が代々神主職となっていたが、南北朝時代に南朝方についたために、その後信太氏は神主職の地位を失う。かわって延文5年（1360年）には和田蔵人が神主職についている。南北朝時代より同じ和泉国の大鳥神社、泉穴師神社、積川神社、日根神社とともに「五社大明神」と呼ばれるようになる。和泉国の神社の3番目の地位を占めるが、「三宮」の記述は中世にはない。天正3年（1575年）、織田信長に所領1100石を安堵されるが、同13年（1585年）の豊臣秀吉の根来攻めで兵火にあい、所領も没収された。

江戸時代の初期に豊臣秀頼が片桐且元を奉行として各地の社寺を造営したが、当神社も慶長9年（1604年）に造営されている。現存する当時の社殿は本社本殿と末社三神社・滝神社・平岡神社の本殿で国の重要文化財及び大阪府の有形文化財に指定されている。また神宮寺として真言宗の万松院があり、五重塔や鐘堂があった。寛政8年（1796年）には社家と社僧の間で紛争が起こっている。

明治になると、神仏分離により神宮寺の万松院は廃寺となった。明治5年（1872年）に郷社に列格し、昭和18年（1943年）3月に府社に昇格する。戦後、神社本庁の被包括宗教法人となる。

泉大津市助松町から伸びる「中和泉街道」は「布引の道」とも呼ばれ、助松浜に上陸した信太大明神が、聖神社に向かう際に布を引いたことに由来する。なお、「中和泉街道」の碑は、紀州街道との交差点に立っている。

社殿

本殿は桁行3間梁間3間の入母屋造檜皮葺の社殿で、正面に千鳥破風を飾り、1間の軒唐破風の向拝（こうはい）を設ける。慶長9年（1604年）の建立。大正13年（1924年）4月15日に古社寺保存法に基づき特別保護建造物に指定され、1950年の文化財保護法施行により重要文化財となっている。



本殿（重文）

境内社

- 稲荷塚

稲荷神を祀る稲荷塚が10基ほどある。

- 三神社

現在の三神社と滝神社の本殿は本社本殿と同じく慶長9年の建立で、極彩色と華麗な装飾は桃山時代の特徴を示している。国の重要文化財に指定されている。ともに明治6年（1873年）に現在地に遷座した。三神社社殿は三間社春日造檜皮葺である。三間社（正面柱間が3間）の春日造は全国的にも珍しい。



末社三神社（右）と滝神社（左）。ともに重文

- 滝神社

社殿は一間社の春日造檜皮葺。向拝は軒唐破風に作る。重要文化財。



末社平岡神社本殿（府文化財）

- 平岡神社

枚岡神社の分社か。

本殿は一間社春日造檜皮葺で、大阪府指定有形文化財に指定されている。現在の社殿は慶長9年から11年にかけての建立である。

- 聖不動明王

- 遥拝所

伊勢神宮の遥拝所。近代に建てられたものである。

文化財

重要文化財

- 本殿 - 安土桃山時代
- 末社三神社本殿 - 安土桃山時代

- 末社滝神社本殿 - 安土桃山時代

大阪府指定文化財

- 末社平岡神社本殿

重要美術品

- 神輿 - 室町時代 文明15年（1483年）^[1]

交通

- JR阪和線北信太駅下車

周囲

- 熊野街道 - 当神社の鳥居と狛犬は熊野街道沿いにある。
- 篠田王子
- 信太森葛葉稻荷神社
- 舊府神社（ふるふじんじゃ） - 白狐の化石（ばけいし）が祀られている。
- 信太の森ふるさと館・信太の森の鏡池史跡公園 - 境内から鏡池方向に歩くと安倍晴明の父である安倍保名とその母葛の葉が出会ったと言い伝えられている「ネズミ坂」がある。
- 蔭涼寺
- 和泉黄金塚古墳
- 池上・曾根遺跡

脚注

- ↑ 和泉市の指定文化財 (<http://www.city.osaka-izumi.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/65/shiteibunkazai20190403.pdf>)

外部リンク

- 聖神社 和泉市の文化財 (<https://izbun.jp/introduction/shinoda/hijirijinja.html>)
-  ウィキメディア・コモンズには、**聖神社 (和泉市)** ([https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:Hijiri-jinja_\(Izumi,_Osaka\)?uselang=ja](https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:Hijiri-jinja_(Izumi,_Osaka)?uselang=ja))に関するカテゴリがあります。

「[https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=聖神社_\(和泉市\)&oldid=75294095](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=聖神社_(和泉市)&oldid=75294095)」から取得

最終更新 2019年12月9日 (月) 07:26（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。